



令和5年6月16日から

# 飼い主のいない猫の 不妊・去勢手術費の一部を補助します

猫は年に2～3回、一度に4～8匹の子猫を産むとされており、町内でも飼い主のいない猫（野良猫）が増えています。そのため、地域において野良猫のふん尿、鳴き声、悪臭などに対する苦情やトラブルも増えています。

町では、野良猫の不幸な出生を抑制するとともに、野良猫による苦情やトラブルをなくすため、不妊・去勢手術費の一部を補助し、地域の理解と協力を得て、地域ぐるみで野良猫を管理する「地域猫活動」の取り組みを推進していきます。



このような取り組みを通して、動物の愛護及び管理に関する町民の意識の高揚を図り、人間と動物が共存できる調和した環境づくりを目指します。

また、町では「動物愛護ボランティア」を募集しています。関心のある人は、ぜひ環境安全課にて登録をお願いします。

## ■補助対象および補助額

補助対象者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内に住所がある人、かつ、町内に居住している人（町税等の滞納がないこと。）</li> <li>・町内の区</li> <li>・町内に活動の拠点を有する団体</li> </ul> <p>（要件）</p> <p>※補助対象猫がいる地域住民に対し、手術の実施及び管理等活動方針について説明を行うとともに、その活動に対して地域住民の理解を得ていること。</p> <p>※手術の後、補助対象猫を捕獲した場所に戻し、餌及びトイレの管理を適正に行うことができること。</p>
補助額 （1匹につき）	<p>メス（不妊手術） 7,000円</p> <p>オス（去勢手術） 4,000円</p>
補助対象猫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・飼い主のいない猫であること。</li> <li>・手術をする獣医師が、手術をすることが適当と認めた猫であること。</li> </ul>
補助対象経費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不妊及び去勢手術に要した費用</li> <li>・識別処置（※）に要した費用</li> </ul> <p>※手術済であることを外見から判断できるよう、対象猫の片耳の先端にV字型の切り込みを入れる処置</p>

## ■補助金申請の流れ

1. 手術を行うことに対し、地域住民の理解を得る。
2. 動物病院に連絡し、不妊・去勢手術及び識別処置を行い、領収書を発行してもらう。
3. 動物病院で補助金交付申請書の「獣医師の証明欄」に記入してもらい、必要書類（※）を添えて環境安全課に申請する。

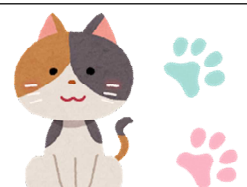
### ※申請に必要な書類

- ①補助金交付申請書
- ②誓約書
- ③領収書（手術以外の費用を含む場合は、明細書も添付）
- ④補助対象猫が主に生息する地域の地図の写し
- ⑤手術後の補助対象猫の写真で、識別処置が確認できるもの

手術を受けた日の属する年度の3月31日までに申請してください。  
申請様式は、町ホームページからもダウンロードできます。

〈お問い合わせ先〉 宝達志水町環境安全課

☎0767-29-8140



# はじめませんか？ 地域でのら猫対策



のら猫に対する思いは人それぞれ

敷地に糞や尿をされる 畑や庭を荒らされる お腹をすかせていてかわいそう

何もしないままだと、地域にのら猫がどんどん増えていく・・・  
何とかしたい！という気持ちは、みんな同じです

## 問題解決のため、地域で協力して のら猫対策に取り組んでみませんか？



## 地域でのら猫対策活動例

### ① 飼い猫は適切に飼う

- ・家の中で飼う
- ・首輪やマイクロチップで飼い主が分かるようにする
- ・子猫が生まれないように手術をする

のら猫を増やさない

### ② のら猫の不妊去勢手術

専用の捕獲器を使って猫を保護し、動物病院で手術後、猫を元の場所に戻す

一代限りの命を全うして  
のら猫が少しずつ減る

耳カットは  
手術をした印！



### ③ ルールを守ったのら猫へのエサやり

- 地域でエサやりのルールを決める
- ・時間と場所を決める
- ・猫が食べ終わるまで待って、周囲をきれいに片づける

お腹をすかせて  
ゴミをあさるのを防ぐ

エサの置きっぱなしは苦情になります  
・腐って悪臭がする  
・カラスや他の地域の猫などが集まってくる

エサやりを禁止しても  
猫がいなくなるわけではありません

### ④ のら猫のトイレの設置と管理

- ・のら猫のトイレを作る
- ・こまめに掃除をする

プランターを使った  
猫トイレの例

プランター  
やわらかい土や砂

小石と底網ネット  
敷地に糞や尿をされるのを防ぐ

＜参照＞石川県ホームページ「はじめませんか？地域でのら猫対策」より

町では、のら猫を地域ぐるみで管理する「地域猫活動」の取り組みを推進していきます。のら猫を減らし、猫をめぐるトラブルを防ぐには地域住民の合意・協力が必要です。町内でも実際に、区民で協力しながら地域猫活動に取り組み、不妊・去勢手術を行っている区の例もあります。少し時間はかかりますが、猫は徐々に減りますので、ご理解、ご協力をお願いします。飼い主のいない猫の不妊・去勢手術にかかる補助金制度もありますので、詳しくは、裏面のチラシをご覧ください。

現在、町や保健所では動物愛護の観点から、猫の引き取りをしていません。（昨年度、県内で殺処分された犬・猫の数はゼロでした。）愛護動物を虐待したり捨てることは法律で禁じられています。人と動物がともに安心して暮らせる社会を目指しましょう！